

新潟市新津「育ちの森」平成30年度 事業計画

特定非営利活動法人ヒューマン・エイド22

事業の柱

- | | |
|--------------|---|
| 1. 交 流 | 1. あそびの広場 2. サロン |
| 2. 相 談 | 1. 予約相談 2. 電話相談 3. メール相談 |
| 3. 保 育 | 1. 一時預かり 2. 保育ルーム |
| 4. 講 座 | 1. 育児講座、他 |
| 5. 情報発信 | 1. ホームページ 2. 季刊情報誌発行 3. 月のたより
4. 子育て情報館内掲示 他 |
| 6. 子育てサークル支援 | 1. 運営に関する講座開催・相談対応
2. サークル出張（あそびの提供） |
| 7. 次世代育成 | 1. 中学生職場体験
2. 大学・専門学校実習研修、等 |
| 8. 地域との連携 | 1. 地域の人材活用（遊びの広場サポーター・保育サポーター）
2. サポーター研修・ミーティング
3. ボランティア活動（手作りおもちゃ） |

1. 「交流」

1. あそびの広場 「親子が楽しんで遊べる場・交流できる場」

- (1)開館日時 ・日、祝日、年末年始、土曜午後、館内メンテナンスを除く毎日
午前の部 9:00～12:00
午後の部 13:00～16:00
- (2)場 所 ・プレイルーム
・サークルルーム1(部屋の貸出無しの場合・木製レール)
・サークルルーム2(部屋の貸出無しの場合ドールハウス・ブロック)
- (3)利 用 料 ・半日を単位として、1家族100円とする。
(20回で2,000円のチケットを用意。使用期限は6カ月)
・季節のイベントで有料の場合、そのつど参加費を徴収する。(100円程度)

あそびの広場利用区分

	月	火	水	木	金	土
午前	ベビー	フリー	ベビー	フリー	フリー	フリー
午後	フリー	フリー	フリー	ベビー	フリー	休み

・安全面を考慮し、ベビーの日、フリーの日を設けている。

火曜日の午後のみ、入園している3歳11カ月の入園しているお子さん利用可。

- ・誕生月の子どもへ手形又は足形スタンプのカードサービスを実施。
- ・来館時シールを貼る「シールカード」を用意。
- ・サークルルーム2をセミナーで使用しない場合、サークルルーム1とつなげ、広いスペースになるよう有効活用。おもちゃを厳選し、ボールや動きの出るようなおもちゃは置かないよう配慮している。

季節のイベント・行事

4月 24,25,26日	こどもの日祭り	12月 18,19,20日	森のクリスマス
6月 26,27,28日	七夕祭り	1月 29,30,31日	節分スポットタイム
9月 20日	交通安全教室	2月 26,27,28日	雛祭りスポットタイム
10月 23,24,25日	育ちの森ハロウィン	3月 23, 25,26日	森の卒業式
11月 20日	歯みがき指導		

※その他 避難訓練 5月30日・9月11日 防犯訓練 11月29日

- ・利用する親子で楽しめるあそびの提供をはじめとするデイリープログラム

(フリー)

(午前)		(午後)	
9:00	受付開始	13:00	受付開始
10:50	絵本の時間	15:00	絵本の時間
11:00	スポットタイム(あそびの提供)		スポットタイム(あそびの提供)
11:40	おかたづけ 体操	15:40	おかたづけ 体操
11:50	お帰り	15:50	お帰り

(ベビー)

(午前)		(午後)	
9:00	受付開始	13:00	受付開始
10:30	絵本の時間	15:00	絵本の時間
11:50	スポットタイム(あそびの提供)		スポットタイム(あそびの提供)
11:40	おかたづけ 体操	15:40	おかたづけ 体操
11:50	お帰り	15:50	お帰り

※上記のプログラムの他、学年別限定日のプログラムを年10回実施。

2. サロン (参加者同士の情報交換・交流)

- (1) テーマを決めスタッフがコーディネーター役となり、気軽に交流や情報交換を行う。利用者のニーズに沿ったテーマで開催。

(2)内容に応じてゲストを招き、専門的な情報を提供。

(3)父親の育児参加を促すため、月1回「パパサロン」を設ける。スタッフがコーディネーターを務めパパ同士の情報交換の場を設定する。

2. 相談 「相談しやすい環境をつくり、信頼感を大切に話を聴きます」

- (1)時 間 館内 9時～16時 電話9時～17時 メール 随時
他の利用者に気兼ねせず相談を受けられるよう月曜午後を予約相談日とする。また、開館時間内であれば随時対応していく。電話、メールでの相談は随時対応。
- (2)場 所 あそびの広場で、あるいは個別を希望の場合は相談室等を使用し、本人要望に沿った環境で対応する。
- (3)内 容 基本的には傾聴する。相談の内容に応じて、担当スタッフにげたり、ひ相談の初期対応を行い、専門的な関りが必要である場合はスタッフ間で協議し、妥当と思われる機関につなげ連携して支援する。
- (4)料 金 無料とする。

3. 保育 「安心して子どもを預けることができる一時預かり、保育ルームの環境を整えます」

1.一時預かり

- (1)保育時間 支援センター開館日の9:00～16:00(土曜日は9:00～12:00)
- (2)受付時間 事前登録が必要。原則として前日正午までの予約制とする。
- (3)場 所 一時保育室またはプレイルーム・サークルルーム
- (4)内 容 病気や通院、リフレッシュなど、一時的に保育ができない場合に子どもを保育する。
- (5)対 象 概ね4カ月以上の子どもを対象とし、定員は原則として10名とする。
- (6)保 育 料 1時間600円とする。
- (7)保 育 者 21世紀職業財団主催「保育サポーター養成講座」修了者、保育士有資格者または保育グループ在籍者。

2.保育ルーム

- ・当センターが主催する講座が保護者対象の場合、その保護者の子どもを、開講時間のみ集団で保育する。
- ・1保育ルーム 1名700円
- ・子ども2名につき1名の保育サポーターがついて保育する。
- ・センターのスタッフが2名入り保育、統括する。

4. 講座 「子育ての情報交換や学び合いができ、つながりが持てる講座」

(1)育児に必要な知識の提供や子どもとのかかわりを学習する講座

トイレトレーニング、きょうだいの子育て、子育てハッピーセミナー、救急法、タッチケアセミナー

(2)交流・情報交換を主にする講座

1歳児・2歳児・3歳児セミナー、ベビ・ママセミナー(赤ちゃんとママが一緒に参加)

(3)地域の子育て支援講座

サークル研修セミナー

(4)再就職を支援する講座

・保育園入園申込みに関するセミナー

(5)市民も気軽に参加できる講座

メモリアルブック、救急法

5.情報発信 「情報発信の充実」

(1)HPで、毎月の予定、イベント情報など育ちの森の情報を発信。携帯電話用に、毎日駐車場の情報をアップする。

(2)季刊情報誌「Cocokara(ここから)」を発行。(B5判、28ページ、4,000部)

年4回(4・7・10・1月)、育児情報を編集。サポートスタッフがイラスト・情報提供に関わり作成。新潟市内保育園・公民館・公共施設・公共機関等を中心に配布。

(3)毎月1回、行事・予定を掲載している支援センター便り「森のひろば」を発行する。(400部)

(4)子育てに関わるチラシの設置。

(5)図書コーナーにある育児書・雑誌、絵本の貸し出しをする。

(6)ハローワークの協力を得、求人情報を毎週更新で貼り出す。

(7)エフエムにいつ(ラジオチャット)から育児情報を提供をする。(第1・3・4週 土曜日 10:00～10:30 放送)

6. 子育てサークル支援 「サークル運営のサポート」

(1)子育てサークルの研修を区の社会福祉協議会と協力して開催する。(年2～3回)

(2)子育てサークルの要望により、遊びの講師や保育サポーターの情報を提供する。

(3)運営や人間関係、活動内容などの相談対応。

(4)サークル同士の交流を目的にサークル限定日を年1～2回午前実施。

(5)サークルに出張し、手遊び・ふれあい遊びなどを提供

7. 次世代育成 「次世代に向けた学びと経験の場」

(1)中学生乳幼児ふれあい体験、総合学習受け入れ。

(2)専門学校実習、研修

(3)大学、専門学校の実習、子育て支援に関する講義を実施

8. 地域との連携 「子育てしやすいまちづくり」

地域の人材を子育て支援に

(1)あそびの広場の補助スタッフとして活動

(2)保育サポーターとして、一時預かり、保育ルームの保育スタッフとして活動

※上記のサポートスタッフは、サポーターミーティングを年4回実施する。

(3)手作り玩具ボランティア活動受け入れ

・手作りおもちゃやエプロンシアター、イベント用品の製作。

(4)学生ボランティアを積極的に受け入れ。